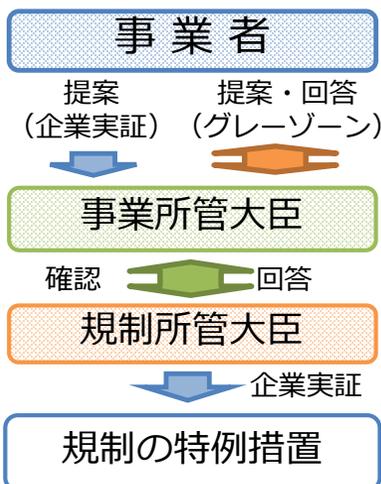


# 第4次産業革命の推進に向けた 経済産業省の取組

平成29年5月12日  
世耕大臣提出資料

# 1. 日本版レギュラトリーサンドボックス

## ① グレーゾーン解消制度、企業実証特例制度のスキーム (産業競争力強化法 (平成26年施行))



### <制度のポイント>

- (1) 事業者発意による提案
- (2) 安全性確保のための代替措置  
※企業実証特例制度のみ
- (3) 規制所管省庁が最終判断  
事業所管省庁は事業者をサポート

### <課題>

規制所管省庁の最終判断が優先。  
事業所管省庁と規制所管省庁の間の調整メカニズムも不十分。

⇒ 革新的なプロジェクトの試行錯誤に限界あり (過大な時間、コストがかかる)

⇒ 「日本版レギュラトリーサンドボックス」の必要性

## ② 「日本版レギュラトリーサンドボックス」想定事例案

### 水素タンクの新材料開発

#### 対象制度

： 高圧ガス保安法 (水素タンクの試作毎に容器検査が必要)

**概要**： 自動車メーカーのテストコース等において、リスクアセスメントを実施し、影響が及ぶプロジェクト参加者や隣接住民等の合意を得た上で、安価な材料を使用した新型水素タンクの試作品について、容器検査を受けることなくテスト走行を実施。



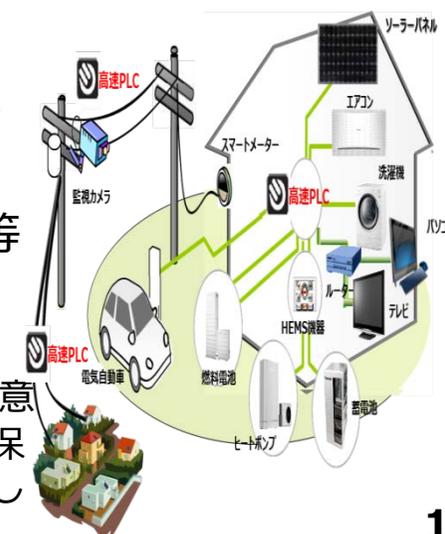
### つながる家電

#### 対象制度

： 電気用品安全法 (家電に通信器機を組み込む際の電波障害防止)

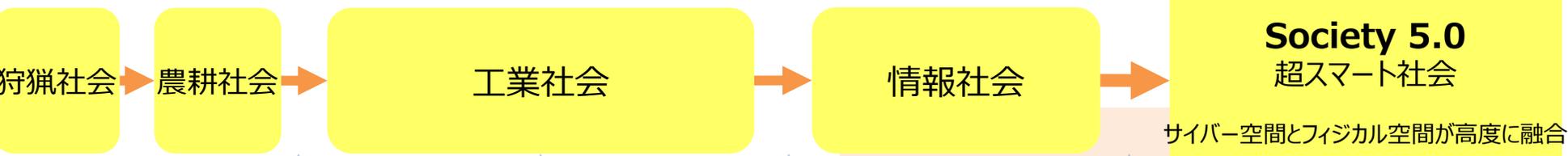
**概要**： 家電にPLCモデム等の通信機器を組み込み、つながる家電の製品化に向けた実証。(利用者の同意やプライバシーの保護等を確保した上で、宅内データを活用した新サービス創出に繋げる)

高速PLC (電力線通信) の利用



# 2. Society 5.0につながるConnected Industries

## <社会の変化>



## <産業の在り方の変化>

個々の産業ごとに発展

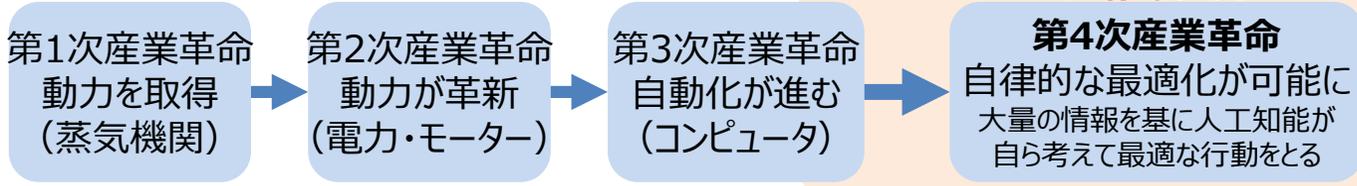
**Connected Industries**

- ・様々なつながりによる新たな付加価値の創出
- ・従来、独立・対立関係にあったものが融合し、変化

→新たなビジネスモデルが誕生

**新たな社会を形成**  
人間中心  
課題解決型

## <技術の変化>



## <新産業構造ビジョン>

- 【戦略分野】**
- ① 移動する
  - ② 健康を維持する・生涯活躍する
  - ③ スマートに生み出す・手に入れる
  - ④ スマートに暮らす

- 【横断的課題】**
- ルールの高度化
  - 人材育成・活用
  - 社会保障
  - 経済の新陳代謝
  - 地域経済社会・中小企業
  - グローバル展開

# 3. Center of Excellence ~最先端の国際戦略拠点の整備~

## ◆ 課題：

世界トップレベルの研究者や研究成果を社会実装するベンチャーを含む民間企業が集積したグローバルな戦略研究開発の拠点が不在

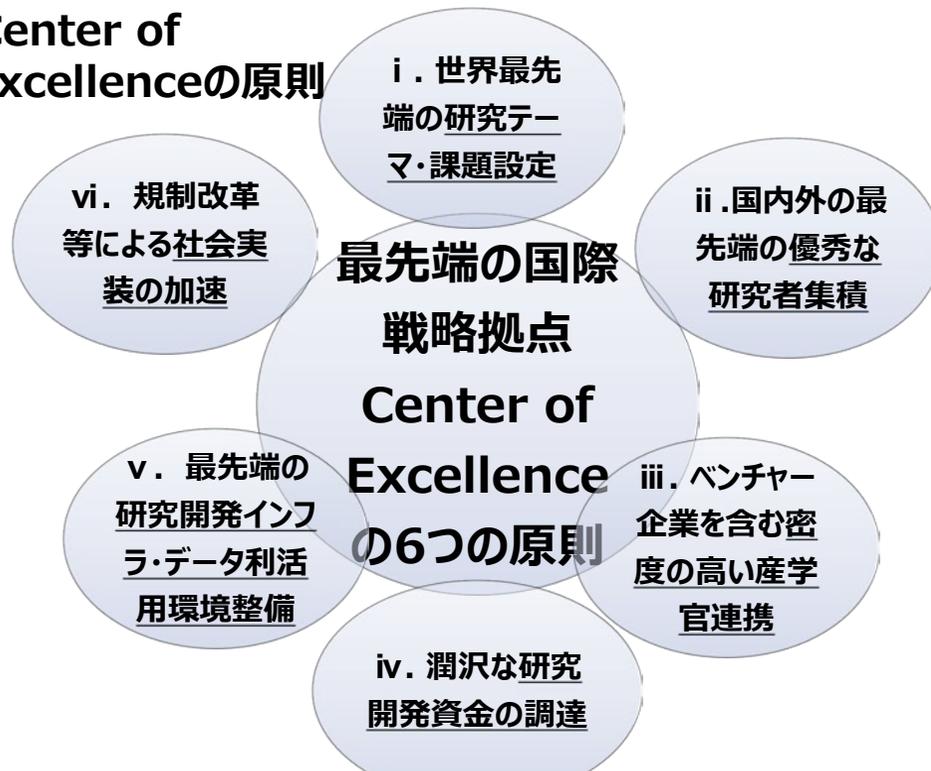
<Center of Excellenceの原則>

- ①最先端の研究テーマ    ②優秀な研究者集積    ③密度の高い産学官連携
- ④潤沢な研究開発資金    ⑤最先端の研究開発インフラ・データ利活用環境    ⑥社会実装の加速

## ◆ 当面の対応策：

- ・AI×ものづくり技術等について、産総研・人工知能に関するグローバル研究拠点整備事業を具体化
- ・AI技術が大規模に社会実装していくため、膨大なデータ解析に適した超高速処理等を可能とする次世代半導体技術等にかかる研究開発プロジェクトを実施

## ■ Center of Excellenceの原則



## ■ 産総研・人工知能に関するグローバル研究拠点

<b>柏ハブ (東京大学 柏キャンパス)</b> <材料・デバイスものづくり> ・各種センサ開発、評価 ・レーザー加工、計測 <健康・医療介護の模擬環境> ・介護、サービス、人間計測 ・手術環境 (本郷と連携)	<b>臨海ハブ (産総研臨海センター)</b> <ロボット模擬環境> ・工場 ・コンビニ ・小型半導体製造装置 ・バイオ研究
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------



## ■ 超高効率AI処理を可能にする次世代半導体技術 (イメージ)



(出所) 第14回新産業構造部会事務局資料より一部改編

(出所) NEDO HP、株式会社エクスピジョン資料